

遠河

天和二年巡見記は八月十九日吹浦に泊り
河田と六里回村は犬杓忌神社として羽別一
云といふあり

一月山神社

月讀命なり古記は天平年中威積の事阿
比志吉備公根積を禱さる所と一ある
事あり月讀命の意魂を表さるいふ
や犬杓忌神社と回村に并（多）延喜社名
帳は飽海郡月山神社名神社とありハ是之

五
主税式は出羽國月山犬杓忌祭料二子末と
ありハ回村に多るが（小祭料）も少ある
と見（一）り兼平年中穩倉より三修造の
法教虫にありまゝと稱するも回村は多るの
号なり又正平の古院文にもありとあり
又一山の号をあり山と稱するもある社のま
るゝもなるなり郡中の山伏者子の祭文は
吹浦あり権現と稱し又七人神社（系譜
をありありといふ慶長三年羽忌山を
事（きり）り出状も吹浦ありとあり